

がん化学療法指示書

登録番号 233

作成日 2019/1/9

レジメン名	GBDCA+PEM+Pembrolizumab
診療科・対象疾患	(呼)非扁平上皮非小細胞肺癌
投与間隔	3週毎
投与サイクル数	4コース

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
キイトルーダ	ペムブロリズマブ	200mg/body	Day1
ペムトレキセド	ペムトレキセド	500mg/m2	Day1
カルボプラチン	カルボプラチン	AUC=5(max6)	Day1

治療内容	投与スケジュール	滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	day1							day21		
		注射	Rp1		生理食塩液	100ml	任意	ルート確保・フラッシュ用	●								
		Rp2		パロノセトロン(0.75mg)	1袋	15分	点滴静注メイン	●									
				デキササート(6.6mg)	1瓶												
		Rp3		生理食塩液	100ml	30分	点滴静注メイン	●									
			癌	キイトルーダ(ペムブロリズマブ)	200mg												
		Rp4		生理食塩液	50ml	15分	点滴静注メイン 経過観察用	●									
		Rp5		生理食塩液	100ml	10分	点滴静注メイン	●									
			癌	ペムトレキセド	500mg/m2												
		Rp6		生理食塩液	250ml	60分	点滴静注メイン	●									
			癌	カルボプラチン	AUC=5												
その他必要薬剤	<ul style="list-style-type: none"> ・アプレピタント(125mg): 1cap分1 ルートキープ時に内服(day1) ・アプレピタント(80mg): 1cap分1 朝食後に内服(day2,3) ・デカドロン(デキサメタゾン) 4mg: 2錠 朝食後に内服(day2,3) ・葉酸: 1日1回0.5mg(パンビタン末1g)を初回治療前の7日前から服用し、最終治療後21日後まで連日服用 ・ビタミンB12: 1mg(メチコバール500μg2A)を初回治療1週間前および以降は3サイクル(9週)毎に筋肉注射 																
総投与時間	総投与時間: 2時間10分																
血管外漏出リスク	キイトルーダ(ペムブロリズマブ): 非壊死性抗がん剤 ペムトレキセド: 非壊死性抗がん剤 カルボプラチン: 炎症性抗がん剤																
投与時の注意事項	キイトルーダ(ペムブロリズマブ)はフィルター付きルート要 ペムトレキセドはNSAIDsとの併用は注意(ペムトレキセドの血中濃度が増加し副作用が増強される可能性がある)																
備考欄	Infusion Reaction Grade2の場合、キイトルーダ(ペムブロリズマブ)の投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には、投与速度を50%減速して再開する。 Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う。 レスタミンコーワ10mg 5錠 アセトアミノフェン300mg 2錠																